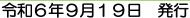
宇部市立二俣瀬小学校 コミュニティ・スクール







家庭・地域とともに進める学校づくり(第1回学運協)

令和6年度 第1回学校運営協議会

家庭・地域とともに進める 学校づくりの方針

> 令和6年 4月18日 宇部市立二俣瀬小学校



未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成

【宇部市学校教育推進の基本理念】

「自立」と「共存同栄」字部を愛し、未来を拓くひとづくり

【二俣瀬小学校 学校教育目標】

よく学び、よく遊び、ともに伸びゆく二俣瀬っ子の育成 ~【校訓】「やさしく」「かしこく」「たくましく」~

【こんな学校に!】

ひたむきで ぬくもりのある さわやかな 二俣瀬小

【こんな子どもに!】

- ○ひたむきな子ども
- 目標やめあてに向かって挑戦する
- ○ぬくもりのある子ども

互いのよさを認め、思いやりの言動ができる

○さわやかな子ども

明るく元気なあいさつ、素直な返事ができる

【子どもたちの課題となることは・・・】

いつでも どこでも 誰にでも 自分から進んで・・・ 【こんな4つの取組を!】

夢と知恵と絆で「ふるさと二俣瀬」だからこそできる教育

①「ひたむき(学ぶ力)」を引き出すために・・・

主体的・協働的に学び、 読解表現力を高める

自由進度学習の推進



【子どもたちの課題となることは・・・】

いつでも どこでも 誰にでも 自分から進んで・・・

【こんな取組を!】

夢と知恵と絆で「ふるさと二俣瀬」だからこそできる教育

②「ぬくもり(人間関係力)」を引き出すために・・・

仲間と関わりながら関係を広げ、

自己肯定感を高める

心の教育・生徒指導の充実

【子どもたちの課題となることは・・・】

いつでも どこでも 誰にでも 自分から進んで・・・ 【こんな取組を!】

夢と知恵と絆で「ふるさと二俣瀬」だからこそできる教育

③「さわやか(生活改善力)」を引き出すために・・・

自分の体力・生活課題を振り返り、

主体的に改善していく

体力・生活力向上の取組

【子どもたちの課題となることは・・・】

いつでも どこでも 誰にでも 自分から進んで・・・ 【こんな取組を!】

夢と知恵と絆で「ふるさと二俣瀬」だからこそできる教育

④「二俣瀬コミュニティ・スクール」を一歩進めるために・・・

「ふるさと二俣瀬」を素材に

家庭・地域と連携した

「ふるさと学習」への挑戦

「みんなの二俣瀬」を推進する合言葉

- 一. 児童に寄り添い、児童の力を引き出し、伸ばします。
- 一. 歴史と伝統を踏まえ、地域の特色を生かします。
- 一. 互いの立場を尊重し、児童のために連携します。
- 一、評価と熟議に基づいて、改善と挑戦を重ねます。
- 一. 互いの取組に感謝し、つながりを深めます。



熟議「みんなで語り合おう~子どもの課題解決に向けた取組を!~」(第2回学運協)

本日の熟議のテーマ

櫣 みんなで 語り合おう!

~子どもの課題解決に向けた取組を!~

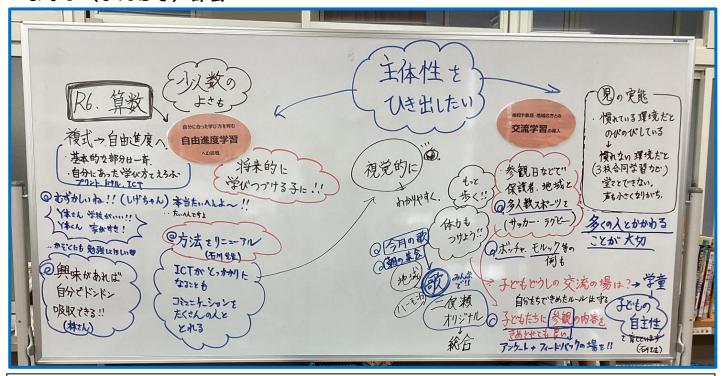
- *いったい、子どもたちには、どんな課題があるのか?
- *学校は、家庭・地域とどんな連携を望んでいるのか?
- *学校に、保護者・地域住民として、こう関わりたい! *取組に、保護者・地域住民として、どんな関わりができるか?
- * 学校には、みんなでもっとこんな取組をやってほしい!
- *その取組なら、地域にこんな人がいるよ! など

<まなび(ひたむき)部会>



本日の熟議の目的

「校内CSプロジェクト部会」の取組案 について、保護者・地域住民・教職員 それぞれの立場から、子どもたちの課題 解決に向けて、連携・協働できることを 語り合う。



<家庭・地域・学校からの意見>

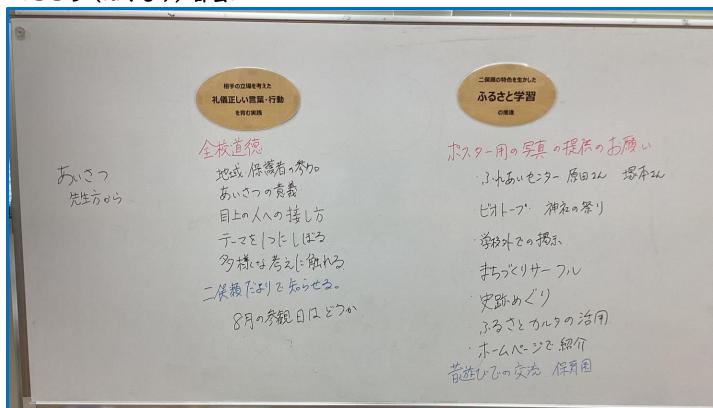
【自由進度学習】(「主体性を引き出す」ということを中心に話合い)

- ・登校時に子どもたちの話を聞くが、子どもたちに力をつける授業をすることはとても難しい。
- (お子さんがゲームにはまっているという話から)興味があることは、自分でどんどん吸収できる。
- ・ICTを使うと、遠くの人や知らない人ともコミュニケーションをとれる。学習方法を変えていかなくてはいけない。
- ・自主性を出すと、長い目で見て、将来的に学び続ける子になるのではないか。
- ・少人数でよく見てもらっているので、少人数のよさもある。

【交流学習】(児童の実態から話合い)

- ・参観日などで、保護者・地域とともに、多人数スポーツをする機会をもつとよい。
- ・昔はみんなたくさん歩いて、体力があった。友達の家にも歩いて行っていた。今の子どもたちはどのように交流している のか。⇒子ども同士の交流の場が、学童クラブになっている。学童の中でも子どもの自主性を大事にしているので、自 分たちで遊びについて決めさせている。
- ・参観日はただ単に参観して終わりとなっているので、アンケートをとってもっと参観者の声を拾ってほしい。
- 参観日にやる内容については、子どもたちの意見を取り入れて決めるとよいのではないか?
- ・歌を歌うことは、子どもたちの表現力の育成によいのではないか。参観日にも歌を歌わせてほしい。
- ・朝の集会での発表(担当学年を決めて、全校の前で、自分たちが学習している内容を発表するなど)をすると、子どもた ちの表現力向上に役立つのではないか。
- ・二俣瀬小は少人数学級なので学習における裁量がききやすいはず。学校でこんな学習に取り組んだという思い出に残 るような二俣瀬ならではの学習にぜひ取り組んでほしい。

<こころ(ぬくもり)部会>



<家庭・地域・学校からの意見>

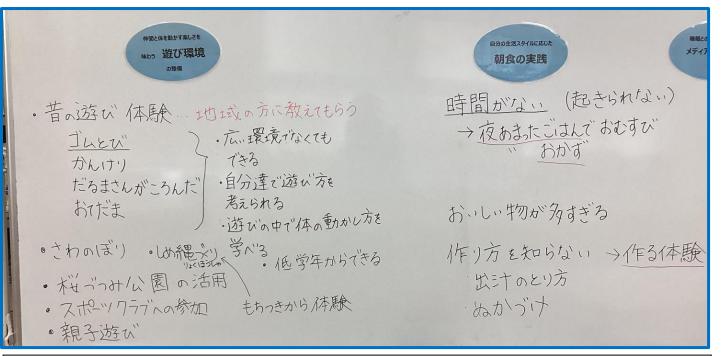
【礼儀正しい言葉・行動】

- ・全校道徳を2学期以降に実施する予定。地域や保護者の参加や参観をお願いしたい。
- ・全校道徳となるとテーマの設定が難しいが、テーマは1つにしぼりたい。教科書の使用は難しいので、あいさつ動画等を活用していきたい。
- ・あいさつの意義について話し合うのはどうか。
- ・目上の人への接し方も学んでいけるとよい。
- ・普段の授業では、多様な意見に触れる機会が少ないので、今日の熟議のように大人の方の意見に触れることも大切。
- ・授業参観等については、学校だよりや HP は見ない人が多いので、二俣瀬だよりに掲載して参加者を募ってはどうか。
- ・8月の参観日も候補日だが、保護者は各学級の授業が参観したいのでは。また、暑いので、高齢者の参加は難しい。時期を検討した方がよい。

【ふるさと学習】

- ・地域行事のポスターを作製予定。写真の提供をお願いしたい。⇒ふれあいセンターに尋ねてみるとよいのでは。保護者にも声をかけてみる。
- ・夏祭り、文化祭、敬老会、どんど焼き、グランドゴルフ大会、ウォーキング大会などの画像があるとよい。
- ・ビオトープや神社のお祭りもよいのでは。神社は複数ある。
- ・学校内の掲示を考えていたが、学校外(ふれあいセンター、JA、郵便局等)にもお願いして掲示してはどうか。
- ・行事の紹介文は、まちづくりサークルに協力をお願いしてはどうか。
- ・史跡巡り等にも協力してもらえるかも。
- ふるさとカルタをもっと活用した方がよい。
- ・5・6年生は二俣瀬のよさを HP で紹介したいと考えている(総合的な学習の時間)。
- ・コロナ前のように、昔遊び等で地域の方々と交流ができればと考えている。
- 保育園との交流もできるとよい。

<からだ(さわやか)部会>



<家庭・地域・学校からの意見>

【仲間と体を動かす楽しさを味わう「遊び環境の整備」】

- ・課題:外で遊ばない。小規模校のため、全校で遊んでも学年差があるので、遊ぶ内容も限られる。
- ・昔の遊び(ゴムとび、かんけり、だるまさんがころんだ、お手玉など)を体験させるのもよい。メリットとして「広い環境でなくてもできる」「自分たちで遊び方を考えられる」「遊びの中で体の動かし方を学べる」「低学年からできる」点がある。保護者や地域の人と一緒にできるとよい。
- ・しめ縄作りもよい。緑豊舎でもち稲のわらをもらえる(秋の稲刈り頃)。餅つきも体験できる。
- ・今後、子どもたちにさわのぼりをさせたい。二俣瀬ビオトープ上に、さわのぼりができる場所(清瀬峡)を利用。現段階では、協力者等がいないため、まだ実施できるかは不明。
- ・桜づつみ公園が活用できないか。二俣瀬に遊具のある公園がないので、桜づつみ公園に子どもが遊べる遊具及び地域 の人も利用できる健康機具を設置できると、子どもと一緒に公園を活用することができるのでは?
- ・地域のスポーツクラブへの入会を積極的に働きかけては?体をよく動かすことで、疲れてすぐ寝るようになる。⇒生活習慣も改善される。
- ・家庭での親子遊びを提案し、奨励してはどうか?

【自分の生活スタイルに応じた朝食の実践】

- ・朝食づくりのコツを紹介してはどうか?「夜余ったごはんでおむすび、おかずを作る」…夜のうちにおむすびを作り、冷蔵庫で保存。朝レンジで加熱して、のりをまいたら簡単に作ることができる。余ったおかずをそのまま朝食に。
- ・だし(煮干し)は、粉末の状態でだしをとると、そのまま食べられて、栄養価も上がる。
- ・野菜は漬物がよい。簡単で食べやすい。食べ過ぎは塩分の摂り過ぎになるが・・・。
- ・だしの取り方などの作り方を知らない人が多いので、一緒に作る体験も必要!
- ・おいしいものが多過ぎるのも問題。児童の偏食につながっているのではないか。

第2回学校運営協議会の熟議では拡大版で実施し、家庭・地域・学校から総勢25名もの方々にご参加いただき、貴重なご意見をたくさんいただきました。心から感謝申し上げます。今後、いただいたご意見等をもとに、校内において教職員とともに協議しながら三部会の取組を改善し、IO月ぐらいから少しずつ実践に移していきたいと考えています。これら実践には、家庭・地域との連携・協働的な取組が欠かせません。引き続き、ご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。第3回学校運営協議会【II月7日(木)】では、児童にも参加してもらい、三部会の取組に関わる熟議を予定しています。今回も拡大版で実施する予定ですので、ぜひご参加ください。そして、児童の課題「多様な人との関わりの中で、主体性を引き出す」ことの解決の糸口にしたいと考えています。